

留学を成長の起爆剤に！

人社1年 平野春香

この8月4日から8月25日までの3週間、カナダ・モントリオールのマギル大学へ英語研修に行ってきました。茨城大学には、春休みにもマギル大での語学研修があります。私は、待ち切れず、「とにかく早く外の世界を見たい」、「なかなか上がらない英語学習へのモチベーションを上げたい」と思って両親や祖母の支援を受けて出発しました。

今回、茨大から参加したのは2人。参加への英語の申請書の記入から、銀行への送金、そして航空券や保険の手配など一切切切を自分で処理し、一人で行き来しました。

滞在は、夏休みで空になった大学の寮の一人部屋に宿泊する形で、慶應、上智、津田塾、聖心女子大や聖路加看護大からの76人と一緒でした。

7～8人のグループに1人の割合でモニターと呼ばれる世話役の現地の大学の学生がついて、毎晩いろんな所に連れて行ってくれたり、寮でゲームをしたり、話をしたりしました。

研修は、事前のテストにより4つに分けられたクラスで進められました。午前中はカナダの歴史から文化からあらゆることを学び、会話、発表、リスニングなどを鍛える授業。月曜日には、発音クリニックのクラスがあり、専門の先生に発音の指導をしていただきました。

午後は、寮とは、また別の補助役のモニターさん3人がついてくれました。パソコンを使って調べ物をしたり、クラスの皆との遠出を楽しんだり。授業が終わる4時から、夕食の時間まで自由行動。モントリオールにはショッピングモールが驚くほどあり、買い物やカフェに入って存分に街を堪能しました。食事は、寮生用の欧州風のオシャレなカフェテリアで毎日済ませました。

最初の週末は首都オタワの観光。博物館や植物園を訪れました。2週目の週末は、追加オプションで、キャンプかナイアガラ・トロント観光か、ホームステイか選べます。これは別途お金を出す必要がありました。私はホームステイにしました。

お世話になったのは、独特な文化を持ったユダヤ教の家庭でした。野外コンサートや買い物やテニスなどいろいろな所に連れて行っていただき、日曜夜まで3日間だけでしたが、本当に楽しかったです。何より、英語漬けになれました。

プログラムを終えて、良かったなあと思うことが4つありました。慶應、上智、津田塾など都内の私大の友達がたくさんできたこと、同世代のモニター学生らと色々な話ができ、本場の英語に触れて様々な表現や発音を手に入れたこと、英語を聴く耳が少しはできあがったことなどです。

帰国前に、ニューヨークで一泊し、観光してきました。夜のタイムズスクエアにNYの豊かさの象徴5番街、9・11メモリアルタワー、世界経済の中心地のウォール街、米国の象徴の自由の女神など憧れのマンハッタンをこの目で確認することができました。

研修前は正直、英語で話す相手が何を言っているか分らなかったけれど、帰国前はだいたい分かりようになっただけで、発音が少し上達し、相手に自分の言いたいことがスムーズに伝わるようになったのが、とても嬉しかったです。

自分の確実な成長を感じたと同時に、カナダに滞在中は英語の未熟さもひしひしと感じました。帰国後、直ぐTOEICやTOEFLを申し込みました。もっともっと英語を勉強して次に、彼らに会うことがあれば、今回以上の深い話をできるようになりたいです。この経験をバネに、これからもいろいろなことを経験したいです。

2013年9月(終)

